
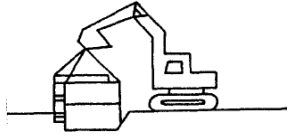
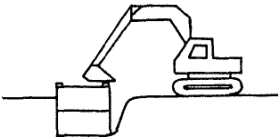
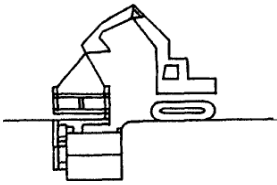
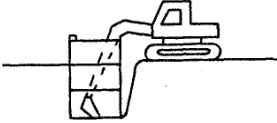
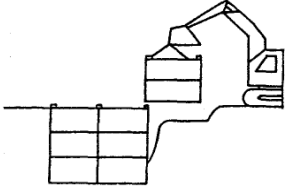


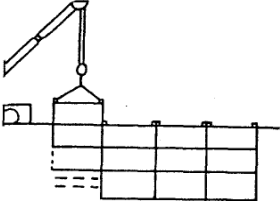
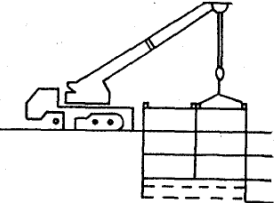
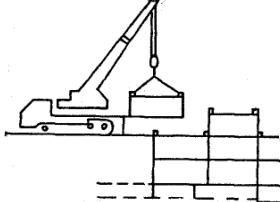
標準作業手順

縦梁プレート方式 (1) たて込み

順序	組立図	作業内容	注意事項
1		バックホーで掘削深さ50cm程度の予掘りを行って下さい。	予掘りは背面土砂が崩落しない程度にして下さい。
2		縦梁プレート4枚に切梁4本を取付け、高さ2m、長さ3mの部材を予掘り上に吊込む。 ※下段縦梁にエッジを取付ける。	1ユニットの吊上げ重量を確認。 安衛則第164条、基発第480号、基初第542号を確認 切梁が2段取り付けてあることが必須。
3		パネル内側の掘削を行いながら、地表面下2mまで押込む。	パネルは、掘削深さと同じだけ押し込むこと。
4		地表面下に押込まれたプレートを掘進方向左右それぞれにプレートを継ぎ足し、切梁を取付ける。	継ぎ足し部材にも切梁も同時に取り付ける。
5		再びプレート内側を深さ30～50cm掘削、プレートを押込む。	
6		1組目が所定の掘削深に設置されたら、2組目、3組目も1～5の作業を繰り返す。	連結には隙間を最小限に行うこと。(連続壁の原則)

標準作業手順

縦梁プレート方式 (2) 引き抜き

順序	組立図	作業内容	注意事項
1		<p>埋設物の布設が完了したら埋め戻し、厚さ30cmごとにパネルを引上げ締固める。</p>	<p>埋め戻材の投入⇒引抜き(30cm)⇒転圧</p>
2		<p>プレートの埋め戻し、引抜き、締固めを繰り返し所定の埋め戻しを完成させる。 この作業は一般的に9mの範囲で行い順次繰り返す。</p>	
3		<p>埋め戻し厚さ1m完了ごとに上部プレート1組を取り外す。</p>	<p>1ユニットの吊上げ重量を確認。 安衛則第164条、基発第480号、基初第542号を確認</p>

たて込み簡易土留安全点検チェックシート

会社名	
作業所名	
点検者	

縦梁プレート方式

年 月 日

項目	内容	チェック項目	チェック欄 ✓
パネル		パネルの変形はない	
		パネルの上下連結時、パネルの間に指を入れてはいけない	
		パネルの上下連結時、固定は正しく行われている	
		バケットによる打ち込みは行わない	
		プロテクターは使用している	
切梁		切梁取り付け位置・本数は強度計算書と一致している	
		切梁の曲がりはない	
		切梁は正しく装着されている	
		たて込み時、切梁の傾斜は5度以内である	
		たて込み完了後、切梁は平行になっている	
ワイヤー・フック		ワイヤーに変形や腐食はない	
		フックのハズレ止めは正しく機能している	
		掘削機の吊具にハズレ止めは付いている	
施工		予掘りは0.5m～1.0mの範囲で行われている	
		先掘りは30cmを超えてはいけない	
		作業員はたて込み中は掘削溝に入ってはいけない	
		裏込めは行われている	
		パネル間を離して施工してはいけない	
		掘削方向の土砂崩落の恐れがある場合、流砂防止板等を用いている	
		パネルの引き抜き・埋め戻し・締め固めは30cm毎に行われている	
運搬・保管		荷崩れ防止の処置はされている	
		陸組み後のパネルは転倒防止がなされている	

たて込み簡易土留協会